災害への備え

迅速・安全な判断のために

▲昨年７月の集中豪雨の際の滑川橋付近の様子
（本市では、警戒レベル４「避難勧告」を発令しました）

昨年の６月末から７月初めにかけての記録的な大雨により、県内各地で甚大な被害が発生しました。本市においても、「避難勧告」が発令されるなど、改めて災害への備えの重要性を認識した方も多いのではないでしょうか。

災害が発生してからの判断・行動では、手遅れになる場合があります。迅速・安全な判断をするためには、日頃から、災害に対する知識を深め、災害に対して事前に備えることが重要です。

防災の課題 ～平成30年7月豪雨～

西日本から東海地方を中心に記録的な大雨となった平成30年7月豪雨では、河川の氾濫や土砂災害が相次ぎ、死者・行方不明者が２００名を超える大きな被害となりました。

自治体から避難勧告が発令されるなど、避難行動を促す情報が出されたものの、住民の避難行動につながらなかったことが、被害の拡大につながったと考えられています。

その後の国の検討会では、防災情報は数が多く複雑で、住民に十分理解されていないこと、それにより、切迫感が伝わらず、避難行動につながっていないことなどが指摘され、避難対策の強化が大きな課題となりました。

避難行動

避難行動とは、「命を守るための行動」です。避難所に移動するものだけでなく、自宅等に留まり安全を確保する行動も避難行動になります。より安全な避難行動を判断するためには、判断に必要な災害情報の取得と事前の備えが大切です。

避難の指標「警戒レベル」

平成30年7月豪雨を教訓として、平成31年3月に、内閣府の「避難勧告等に関するガイドライン」が改定され、災害時にとるべき行動やタイミングを「警戒レベル」を用いた方法で伝え、早目の避難行動を呼びかけることになりました。

警戒レベル1と2は、気象庁が発表し、気象情報等に注意するなど災害への心構えを高め、事前に防災マップ等で避難行動を確認することになります。

警戒レベル3から5については、気象状況や災害発生状況に応じて市が発令するものです。

「警戒レベル3」の避難準備・高齢者等避難開始は、主に、大雨警報等の気象情報が発表された時などに発令する情報です。この情報が発令された時は、避難に時間を要する方とその支援者は避難を開始し、その他の方たちも避難準備を始めることになります。

「警戒レベル4」の避難勧告・避難指示は、土砂災害警戒情報等が発表された時など、市内で災害の発生する危険性が高まった場合などの状況に応じて、情報を発令するものです。警戒レベル4は、非常に危険な状況ですので、土砂災害の危険性のある地域に住んでいる方は、速やかに避難してください。

「警戒レベル5」になると、すでに災害が発生しており、避難することが難しい状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。

防災情報に注意し、警戒レベル3や4で早目の避難行動をするようにしましょう。

市では、防災行政無線や緊急エリアメール等を用いて、市民の皆さんに早目の情報を伝達していきます。

情報の確実な取得

市では、防災行政無線設備を通じて災害情報の提供や避難の呼びかけを行います。屋外放送のほか、次の方法で放送内容を取得することができます。複数の方法を用いて情報の確実な取得をお願いします。

◎防災・一般情報メール

事前に登録した携帯電話などのメールアドレスに、放送内容をメールで自動配信する機能です。放送が聞き取りにくい場所でも、メールで放送内容を確認することができます。

※登録方法については、23ページに掲載してありますので、そちらをご確認ください。

◎戸別受信機

携帯電話などで、放送内容を取得できない方は、自宅に戸別受信機を設置することで、放送内容を室内で聞くことができます。設置については、補助制度がありますので、ぜひ活用してください。

◎テレホンサービス

放送が聞き取りにくかった時などは、専用番号（73-3400）に電話することで、放送内容と同じ内容を聞くことができます。

◎その他

市ホームページ、携帯電話各社の緊急速報メール、フェイスブックなど

◎5段階で示される警戒レベル

警戒レベル（洪水、土砂災害）	住民がとるべき行動	行動を促す情報
警戒レベル５	命を守る最善の行動	災害の発生情報（できる範囲で発表）
警戒レベル４	避　難	・避難勧告 ・避難指示（緊急）
警戒レベル３	高齢者等は避難 他の住民は準備	避難準備・高齢者等避難開始
警戒レベル２	避難行動の確認	注意報
警戒レベル１	心構えを高める	警報級の可能性

防災マップで事前確認

今年の3月に枕崎市総合防災マップを更新し、4月に公民館を通じて各世帯へ配布しました。

防災マップには、各種災害における被害想定や避難所の位置が示されており、自宅周辺の危険箇所や避難所までの経路等を確認することができます。

また、「知識編」として、災害の種類やその概要、「心得編」として、災害時や避難の際に確認・行動すべきこと、「準備編」として、備蓄のポイントや家屋の対策など、市民の皆さんが災害に備えるために必要な情報を掲載しています。

ほかにも、災害時に家族でやるべきことや連絡方法を事前に決めておく「家族の防災会議」を記録するページもありますので、家族で話し合い、実際に避難経路を歩いてみるなど、事前の確認をしてみてください。

別紙添付の「災害避難カード」は、緊急連絡先や所有者の血液型などを記載できるようになっていますので、携行することで、自分で情報を伝えられない高齢者や子ども、意識のないときなどに役立ちます。

▲防災マップ

さらに、本市は、多くの外国人が生活をしていることから、4カ国語（英語、中国語、韓国語、ベトナム語）で災害時に役立つ情報も掲載しました。

災害に備えるためのアイテムとして、ぜひご活用ください。

災害に対する備え

これからの災害に対応するためには、市民の皆さんが「警戒レベル」に応じた避難行動を理解し、災害発生時に少しでも早い行動を起こす意識を持つことが重要です。また、「枕崎市総合防災マップ」で自宅周辺等の災害危険箇所を確認し、近くの安全な場所や災害時の家族の行動を確認しておくこと、防災行政無線等からの災害発生情報等を確実に取得できるよう、複数の取得方法を備えること、そして、災害時には、事前確認、災害情報及び現況を踏まえて、とるべき行動を判断すること、これらの意識・確認・判断がとても重要です。